

薬効・薬価リスト令和7年版 追補
(令和7年8月13日告示・14日適用)

内 用 薬

先	ウェリレグ錠 40mg (MSD)	40mg1錠 劇 21,916.80 4291094F1020/622990401
---	----------------------	--

4291 抗悪性腫瘍剤/HIF-2 α 阻害剤 ペルズチファン

適応 フォン・ヒッペル・リンドウ病関連腫瘍。がん化学療法後に増悪した根治切除不能又は転移性の腎細胞癌。

用法 1日1回120mg,経口投与。状態により適宜減量。

禁忌 本剤（成分）に過敏症の既往歴
(薬価基準収載日：令7.8.14, 投与：14日まで)

先	オプフォルダカプセル 65mg (アミカス)	65mg1カプセル 6,038.20 3999030M2028/622991401
---	---------------------------	--

3999i ポンペ病治療用酵素安定化剤 ミグルスタット

適応 遅発型ポンペ病に対するシバグルコシダーゼ アルファ（遺伝子組換え）との併用療法。

用法 シバグルコシダーゼ アルファ（遺伝子組換え）と併用で,体重40～50kg未満1回195mg,50kg以上1回260mg,隔週経口投与。食事の前後2時間は投与を避ける。

注) 中等度以上の腎機能障害患者は次を参考に用量調整/クレアチニンクリアランス 15～60mL/分未満は体重40～50kg未満130mg,50kg以上195mg。

禁忌 ①本剤（成分）に過敏症の既往歴②妊婦・妊娠の可能性
(薬価基準収載日：令7.8.14, 投与：14日まで)

先	ベルスピティ錠 2mg (ファイザー)	2mg1錠 劇 4,792.80 2399020F1021/622990501
---	------------------------	--

2399i スフィンゴシン 1-リン酸受容体 (S1P_{1,4,5}) 調節薬 エトラシモドL-アルギニン

適応 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）。

用法 1日1回2mg,経口投与。

禁忌 ①本剤（成分）に過敏症の既往歴②重篤な感染症③本剤投与開始前6ヶ月以内に心筋梗塞,不安定狭心症,脳卒中,一過性脳虚血発作,入院を要する非代償性心不全,NYHA分類Ⅲ度又はⅣ度の心不全を発症した者④モビッツⅡ型第2度房室ブロック又は第3度房室ブロック,洞不全症候群,洞房ブロックの既往又は罹患（ペースメーカー使用者を除く）⑤生ワクチンを接種しない⑥妊婦・妊娠の可能性

併禁 生ワクチン（乾燥弱毒生麻しんワクチン,乾燥弱毒生風しんワクチン,経口生ポリオワクチン,乾燥BCG等）
(薬価基準収載日：令7.8.14, 投与：14日まで)

先	リアルダ錠 600mg (持田)	600mg1錠 96.10 2399009F5020/622990801
---	---------------------	---

2399i 潰瘍性大腸炎治療剤 メサラジン

適応 潰瘍性大腸炎（重症を除く）。

用法 〔成人〕1日1回2,400mg,食後経口投与。活動期1日1回4,800mg,食後経口投与。状態により適宜減量。〔体重23kg超の小児〕1日1回40mg/kg,食後経口投与。上限2,400mg。活動期1日1回80mg/kg,食後経口投与。上限4,800mgとし,状態により適宜減量。

注) ①活動期の用量を投与する場合は開始8週間を目安に有効性を評価し,漫然と継続しない。②小児1日量は次を目安とする/体重23kg超35kg以下：寛解期1,200mg・活動期2,400mg,35kg超50kg以下：寛解期1,800mg・活動期3,600mg,50kg超：寛解期2,400mg・活動期4,800mg。

禁忌 ①本剤（成分）に過敏症の既往歴②サリチル酸塩類に過敏症の既往歴③重篤な腎障害④重篤な肝障害
(薬価基準収載日：令7.8.14, 投与：14日まで)

注 射 薬

先	アネレム静注用 20mg (ムンディファーマ)	20mg1瓶 向 1,540 1119403F2020/622990001
---	----------------------------	--

1119i 全身麻酔・鎮静用剤 レミマゾラムベシル酸塩

適応 全身麻酔の導入及び維持。消化器内視鏡診療時の鎮静。

用法 〔全身麻酔〕導入12mg/kg/時の速度で,全身状態を観察しながら,意識消失が得られるまで持続静注。年齢・状態に応じ適宜減速。維持1mg/kg/時の速度で持続静注を開始し,適切な麻酔深度が維持できるよう全身状態を観察しながら投与速度を適宜調節。上限は2mg/kg/時。年齢・状態に応じ投与開始速度を適宜減速。覚醒後候が認められた場合,最大0.2mg/kg,静注可。〔消化器内視鏡診療時〕3mg,15秒以上かけて静注。効果不十分な場合,少なくとも2分以上の間隔を空けて1mgずつ15秒以上かけて静注。年齢・体重等を考慮し,適切な鎮静深度が得られるよう適宜減量。

禁忌 ①本剤（成分）に過敏症の既往歴②急性閉塞隅角緑内障③重症筋無力症④ショック,昏睡,バイタルサインの抑制がみられる急性アルコール中毒

先	エアウィン皮下注用 45mg (MSD)	45mg1瓶 劇 1,082,630 2190419D1024/629935601
---	-------------------------	--

先	エアウィン皮下注用 60mg (MSD)	60mg1瓶 劇 1,441,677 2190419D2020/629935701
---	-------------------------	--

2190i アクチビンシグナル伝達阻害剤 ソタテルセプト（遺伝子組換え）

適応 肺動脈性肺高血圧症。

注) 本剤は肺血管拡張薬による治療を受けている患者に適用を考慮。

用法 初回0.3mg/kg,2回目以降は0.7mg/kgに増量し,3週間ごとに皮下注。

注) 本剤開始前・投与中はHb値及び血小板数を測定。少なくとも投与5回目まで並びにその後も,Hb値及び血小板数が安定するまでの間は各投与前に測定。それ以降も投与中は定期的に測定。

禁忌 ①本剤（成分）に過敏症の既往歴②本剤の投与開始前の血小板数が50,000/mm³未満

先	タービー皮下注 3mg (ヤンセン)	3mg1.5mL1瓶 劇 146,284 4291480A1024/629935801
---	-----------------------	--

先	タービー皮下注 40mg (ヤンセン)	40mg1mL1瓶 劇 1,879,962 4291480A2020/629935901
---	------------------------	---

4291 抗悪性腫瘍剤/二重特異性抗体製剤 トアルクエタマブ（遺伝子組換え）

適応 再発又は難治性の多発性骨髄腫（標準的な治療が困難な場合に限る）。

用法 次のA法又はB法で投与。〔A法〕漸増期は1日目に0.01mg/kg,その後は2～4日の間隔で0.06mg/kg,0.4mg/kgの順に皮下注。その後の継続投与期は0.4mg/kg,1週間間隔で皮下注。〔B法〕漸増期は1日目に0.01mg/kg,その後は2～4日の間隔で0.06mg/kg,0.4mg/kg,0.8mg/kgの順に皮下注。その後の継続投与期は0.8mg/kg,2週間間隔で皮下注。

注) 本剤投与によるサイトカイン放出症候群を軽減させるため,漸増期は投与開始1～3時間前に副腎皮質ホルモン剤,抗ヒスタミン剤及び解熱鎮痛剤を投与。

禁忌 本剤（成分）に過敏症の既往歴

(※次頁に続く)

薬効・薬価リスト令和7年版 追補
(令和7年8月13日告示・14日適用)

先 ポムビリティ点滴静注用	105 mg 1 瓶 劇 204, 251
105mg (アミカス)	3959428D1021/629936001

3959i 遺伝子組換えポンペ病治療剤 シバグルコシダーゼ
アルファ（遺伝子組換え）

適応 遅発型ポンペ病に対するミグルスタットとの併用療
法。

用法 ミグルスタットと併用で体重 40kg 以上 1 回 20mg/kg、
隔週点滴静注。

注) ㊟注射用水で溶解し、㊟生理食塩液で希釈後投与。

禁忌 ①本剤（成分）にアナフィラキシーショックの既往歴②妊婦・
妊娠の可能性